

あつまれ
カブスカウトの**木**林



作 神戸第43団カブ隊スカウト一同

令和2年6月

プロローグ

神戸(こうべ)の山奥(やまおく)のそのまた山奥(やまおく)のカブ山にアニマル村があります。

アニマル村にはボーイスカウトがあり、隊長(たいちょう)と井上(いのうえ)隊長(たいちょう)は友達(ともだち)です。

ある日、井上(いのうえ)隊長(たいちょう)あてにメッセージが届(とど)きました。

「アニマル村はず〜っと雨ばかりふって活動(かつどう)がまったくできません。

43団(だん)も活動(かつどう)が出来ていないとのことですが、スカウトたちはお家で楽しく活動(かつどう)できていると聞きました。

そこで、アニマル村のスカウトたちをモデルにした物語(ものがたり)を作(つく)ってアニマル村に送(おく)ってください。」

とのことでした。

物語(ものがたり)の主人公(しゅじんこう)はカブ隊(たい)のくまスカウトで組長のひつじのジローです。

ジローはいつも元気でみんなの人気者。少しおっちょこちょいのところもあるけど、世話好(せわず)きのアイデアマンです。

きれいなところは高いところで、ハチミツが大き(おお)きらい！小さいころにハチの巣(す)に近づ(か)いてハチにさ(さ)されてしまったそうです。

ジローのなかまたち

1組 組長 ひつじのジロー (主人公(しゅじんこう))

次長(じちょう) くまのゴンぞう

りすのクリぼう うさぎのピョンきち

しかのカー子

2組 組長 やぎのメイ子

次長(じちょう) たぬきのポンタ

きつねのコンスケ いぬのワンタロウ

ねこのミャー

3組 組長 うまのパーカー

次長(じちょう) ふたのブー子

ねずみのチュースケ うしのミル子

おさるのキッキー

他(ほか)にも、アニマル村1団(だん)にはたくさんのスカウトがいます。

アニマル村でくり広げられるスカウトたちのいつもの出来事(できごと)やキャンプ、お餅(もち)つき、ハイキングなんかで起(お)こる事件(じけん)や楽しいことなど、おもしろおかしい物語(ものがたり)を考えて作ってください。

たのしいお話、まっています！

第1章「秋ハイキング」

今日は待(ま)ちに待(ま)った秋ハイキング!

アニマル1団(だん)のみんなは山にハイキングに行きます。

このハイキングを計画するとき、ヒツジのジローはあるアイデアを思いつきました。

ハイキングで行く山にみんな1組ずつ分かれて、秘密(ひみつ)基地(きち)を作ろうというアイデアです。みんなワクワクして昨日(きのう)の夜は寝(ね)られないほどでした。

天気は晴れ! さっそく山に登(のぼ)ります。

アニマル1団(だん)のみんながちょっと深(ふか)くまで行くと、秘密(ひみつ)基地(きち)が作れそうな広い平地(へいち)がありました。

そこで、みんなは秘密(ひみつ)基地(きち)を作るためにさっそく森に資材(しざい)を集(あつ)めに行きました。

ウサギのピョン太:何か遊(あそ)べそうな物(もの)も作ったり探(さが)したりしよう!!

ヒツジのジロー:それならパタパタカヌーとかいいんじゃない?

たぬきのボン太:いいね!! じゃあ、早速(さっそく)、始(はじめ)よう~!!

一同:おー!!

くま副長(ふくちょう):たくさんの木の丸太を見つけたよ~!!

ジロー:いいね👍

ポン太:僕(ぼく)は落(お)ち葉(ば)🍁と落(お)ちてたロープを見つけたよ

ピョン太:僕(ぼく)は隊長(たいちょう)にダンボールをたくさんもらったよ～! 後はボールも見つけたんだ!! ほら!! 見てよ!!

ジロー:ピョン太…それ、ミツバチの巣(す)だよ…

くま副長(ふくちょう):えっ! ナイス!!

一同:えっ?

くま副長(ふくちょう):僕(ぼく)、いつもお父さんにハチミツの採(と)り方(かた)を教えてもらったんだ。夜、みんなで食べようよ!

ポン太:刺(さ)されるよ!

くま副長(ふくちょう):大丈夫(だいじょうぶ)!! 僕(ぼく)、ふわふわの毛で覆われているから!

ピョン太:えっ! すごーい!! じゃあ、宜(よろ)しくね

ジロー:ピョン太、反省(はんせい)もしてよ。

ピョン太以外(いがい)の一同:あはははは!!

ひつじのジローたちは、森の中を歩いていると、土の中に大きな穴(あな)があるのを見つけました。中をのぞくとモグラがいました。モグラの住(す)んでいる家だそうです。

モグラはアニマル村に落(お)ちている物(もの)をひろって集(あつ)めていました。

モグラは、「この2つをあげるよ!」と言いました。

モグラは、『天体望遠鏡(ぼうえんきょう)』と『アニマル村の地図』をくれました。

リスのクリぼうは、「今日は晴れたから、いろんな惑星(わくせい)や星が見えるかも!」と言いました。

ひつじのジローは、「それじゃあ、この山のとっぺんまで行こう!」と言いました。

みんなで山のとっぺんまで競争(きょうそう)だ!と走っていきました。

そして、みんなはやっととっぺんまでつきました。

すると、とっぺんでワオキツネザルのワオッキーと妹のワオカがいっしょに木にのぼってあそんでいました。

ワオッキーとワオカに声をかけました「友だちになろうよ」と。

すると「いいよ」と言ってくれました。そして友だちになれました。

アライグマのあらい隊長(たいちょう)が「さっそく天体望遠鏡(ぼうえんきょう)で星を見よう!」と言いました。

そして、天体ぼうえんきょうで星を見てみると、やぎ座(ざ)やこぐま座(ざ)、おひつじ座(ざ)、うさぎ座(ざ)、いぬ座(ざ)が見えました。

「ぼくの星だ!」とか「わたしの星だ! やったーわーい!」とみんなよろこんで言いました。

夜になって、みんな帰れません。

「どうしよう。えーんえーんこまったよー」などみんなこまっています。
そこで、あらい隊長(たいちょう)が考えました。

「そうだ！ひみつきちを作るためのざいりょうをあつめてきてるよね？それでテントを作ればいいんじゃないのか！」

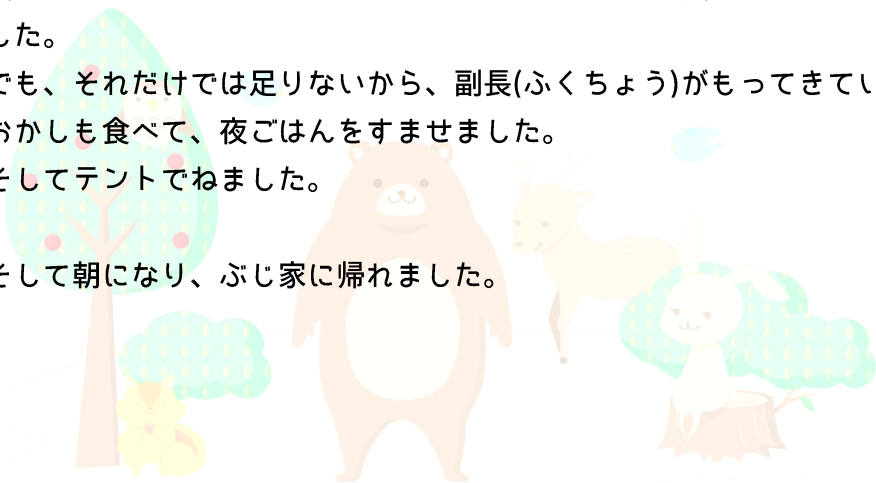
そしてジローたちは、丸太とロープとダンボールを使(つか)ってテントを作りました。

食りょうはもってきてないから、昼とったハチミツを食べることにしました。

でも、それだけでは足りないから、副長(ふくちょう)がもってきていたおかしも食べて、夜ごはんをすませました。

そしてテントでねました。

そして朝になり、ぶじ家に帰れました。



第2章「クリスマス会」

「いやだな〜」いつも元気で、カブが大すきのひつじのジローがためいきをついて言いました。

アニマル団(だん)のいつもの活動(かつどう)場所(ばしょ)は『アニマル団地(だんち)センター』の1かいです。けれど、今年のクリスマス会は『カブ山ビル』の10かいでおこなわれることになりました。高いところがきらいなジローはとてもしょんぼりしています。

そこに、うさぎのピョンきちとねこのミャーとおさるのキッキーがやってきました。

「おはよう!」「元気ないね」「どうしたの?」

いつも、みんなを世話(せわ)しているジローにははずかしいことでした。でも一人で行くと、こわくて、のぼったりおりたりして、何時間かかるでしょう。しかたありません。ジローは高いところがきらいだということをみんなに話しました。すると、みんな、どうすればいいかっしょに考えてくれました。

「でもどうやって上まで高いと思わずに行ける?」ピョンきちが言いました。「それにはいい方法(ほうほう)があるよ!」ジローが言いました。

「目をつぶって行ったらいいんだ」「でも、このビル、かいだんしかないよ!しかも、行き先は10かいだよ」キッキーが言いました。「みんなで押(お)したら?」ミャーが言いました。

みんなはこのさくせんで行くことにしました。えっさほいさと10かいまで上がります。みんなが10かいについたら、ほとんどのカブがあつまっていました。

クリスマス会は、かざりつけから始(はじ)まります。

へやのかざりつけをする時に、オーストラリアからのこうかんりゅうがくせいのコアラのマーチくんが、かざりつけしたかざりを寝(ね)ながらぜんぶ食べてしまいました。

「マーチ君(くん)、何をするんだよー」「やめてよー」みんなが言っても、マーチくんは全然(ぜんぜん)起(お)きません。

すると、ジローが「マーチ君(くん)は夜行性(やこうせい)だから、お昼間は眠(ねむ)たいんだよ。お腹(おなか)も空(く)いてたみたいだし、かわいそうだから、今は眠(ねむ)らせてあげよう」

そういいました。

では、飾(かざ)り付(つ)けをどうするか！とみんなでガヤガヤと話し合(あ)いをしているうちに、マーチ君(くん)が起(お)きてきました。そして、部屋(へや)を眺(なが)めていいました。

「あれ？何で、部屋の飾(かざ)りがひとつもないん？」

するとジローが「きみがエサと間違(まちが)えて食べちゃたんだよ～」と言(い)いました。それを聞いたマーチ君(くん)は、おわびにクリスマスの飾(かざ)りを買(か)いに出(い)かけました。コアラは地(ち)上に降(お)りると意外(いがい)と足(あし)が早く、時速(じそく)20キロで移動(いどう)します。マーチくんは、100メートルを14秒(びょう)くらいの速(はや)さで走り、大きなクリスマスツリーを選(えら)んで戻(もど)ってきました。

ジローが「とてもはやかったね♪」と驚(おどろ)きました。「早く飾(かざ)り付(つ)けをしよう」と猫(ねこ)のニャーが言(い)いました。みんなで箱(はこ)に残(のこ)っていた飾(かざ)りをつけ始め(はじめ)ました。でもやはり飾(かざ)りが足り(たり)ません。

すると、ジローが「ぼくの毛(け)を刈(か)ったら綿(わた)みたいに飾(かざ)れるよ」と言(い)いました。ぴよん吉(きち)がジヨリジヨリとジローの毛(け)を刈

(か)ってくれました。そして、ジローの毛も飾(かざ)りました。最後(さいご)に、おさるのキッキーがクリスマスツリーのてっぺんに登(のぼ)って、黄金の星をつけました。

その時、部屋(へや)の電気(でんき)が消(き)えました。

そして、『カチャリ』という音がして、みんなの頭に銃(じゅう)🔫が押(お)し付(つ)けられて強盗(ごうとう)が来(き)ました😱

でもみんなは、強盗(ごうとう)の頭の上(うへ)にふん💩をのせました。

汚(きたな)いふん💩を乗(の)せられた強盗(ごうとう)は『うわーママー助(たす)けてー』と泣(な)きながらアジトにシャワーを浴(あ)びに帰(かえ)りました。

あらい隊長(たいちょう)がいました。「強盗(ごうとう)も帰(かえ)ったことだし、サンタさんをよぼう！」みんながいました。「サンタさ～ん」といいました。

あらい隊長(たいちょう)がサンタさんになりきってみんなにプレゼントを渡(わた)しました。みんなはとても大喜(おおよろこ)びしました。それからケーキを食べてクリスマス会(かい)を終(お)わりましたとさ

第3章「おもちつき」

山奥(やまおく)にひつじのジローと言うカブスカウトがいました。ジローはカブスカウトのみんなに「川でもちつきをしよう!」とていあんしました。

カブスカウトのみんなで炊(た)いたもち米を持(も)って川に行こうとしたその時です!!

なんとお腹(おなか)のすいたサルがもち米を取(と)ろうとおそって来たのです。

そしてそのままサルにもち米を取(と)られてしまいました…。

ジローは、サルを追(お)いかけてなんとか捕(つか)まえることができました。

ジローは、サルに何でもち米を取(と)ったか尋(たず)ねると、サルは「ウキウキキキ(お腹(おなか)がすいて取(と)ってしまいました。すいません)」と言いました。

ジローは考えて、それなら「今からカブスカウトが集(あつ)まり川原でもちつきをするから一緒(いっしょ)に行こう」とジローはサルと一緒(いっしょ)に川原へ向(む)かうことにしました。

川原についたら、他(ほか)のスカウト達(たち)がサルに気づきました。

「この子だあれ?」と2組組長のヤギのメイコがいました。

「お腹(おなか)がすいてるみたいだから、一緒(いっしょ)にもちつきどうかな?」と誘(さそ)ったんだ。とジローは言いました。

「ウキウキキキキキ(僕(ぼく)はサルのサル吉(きち)だよ。よろし

く)」とサル吉(きち)は言いました。

「たくさんでやったほうが楽しいね。3組に入るかい？」と3組組長のうまのパーカーがいました。

サル吉(きち)はそれを聞いて、ウキウキキキッと、とても嬉(うれ)しそうに飛(と)び上(あ)がりました。

そしてみんなでもちつきをはじめました。

はじめはサル吉(きち)とキッキーがつきます。

キッキーは、「ぼくはもちつきがとくいだぞ！えっへん。」

と自信(じしん)まんまんです。ペッタンペッタン！

とくいなだけに、もうほとんどもちになりました。

「おおー！すごいぞ！」みんなは目をかがやかせました。

次(つぎ)はデコボココンビのミル子とチュースケです。

ペッタンペッタン！

「よし、これで最後(さいご)よ」

ミル子が力(ちから)いっぱいもちをつくと、きねにはりつきピューンととんでいってしまいました。

そのもちは、パーカーの顔(かほ)に落(お)ちました。

パーカーは「前(まへ)が見えな—い」とさわいでいましたが、

そのまま口(くち)の中(なか)へ入(い)って行って、モグモグと全部(ぜんぶ)食(た)べてしまいました。

もうお餅(もち)の残(のこ)りはありません。。。

ひつじのジローたちは森(もり)を歩いてとぼとぼ帰(かえ)っていました。そして偶然(ぐうぜん)帰り道(かえりみち)に他(ほか)の団(だん)のスカウトたちがお餅(もち)つ

きをしていました。

一緒(いっしょ)にお餅(もち)つきをすることになりました。すると、今度(こんど)はカラスにとられてしまいました。さすがのジローでもカラスには追(お)いつきませんでした。みんなしょんぼりしました。

なにかないかなーと歩いていくと、落(お)とし穴(あな)に落(お)ちてしまいました。ジローたちはおわりだーと思った瞬間(しゅんかん)、穴(あな)の中にはお餅(もち)つきでついていた餅(もち)があって奇跡的(きせきてき)に一(いち)命(めい)を取(と)りとりとめました。

そのお餅(もち)は人生で1度(ど)も見たこともない巨大(きょだい)なお餅(もち)でした。スカウトみんなでお餅(もち)を頑張(がんば)って持(も)ち上(あ)げました。

そして食べようと思った瞬間(しゅんかん)カサカサと木(き)が揺(ゆ)れました。ジローはもうコリゴリだよ～と言(い)いました。

そしたら森(もり)の動物(どうぶつ)たちが出てきて

「おいそう！ぼく達(たち)も入れてよ」と言(い)いました。

ジローたちスカウトは森(もり)の動物(どうぶつ)たちと仲良(なかよ)くお餅(もち)を食べましたとさ。

第4章「春のデイキャンプ」

ある日カブ隊(たい)1組はデイキャンプに行く事(こと)になりました。

デンリーダー(以降(いこう)DL)「今からみんなで1日デイキャンプをするこの施設(しせつ)をまずは見て回りましょう」

みんな「分かりました。」

DL「それでは行きましょう！ただし虫には注意(ちゅうい)して下さいね！」

ひつじのジロー(以降(いこう)ジロー)「蜂(はち)の巣(す)があったらイヤだなあ…💧」

リス・しか・うさぎ「早く行こうよ」

DL「それでは行きましょう～」

くまのゴンぞう(以降(いこう)ゴンぞう)「あっ！蜂(はち)の巣(す)発見(はっけん)したよ！！」

ジロー「えー😱この辺(へん)はハチがいるの～～??」

リス・しか・うさぎ「ハチがいてもハチに何もしなければ大丈夫(だいじょうぶ)だから行こう！」

ジロー「う、うん…💧分かった…😞行こう。」

～数分後～

DL「これで施設(しせつ)は全部(ぜんぶ)見たから次(つぎ)は何をしようかなあ～？」

ジロー「スポーツはどうか？」

みんな「いいね！」「ずっと外出禁止(きんし)で家にいたから久(ひさ)しぶりにスポーツしたい！」

ゴンゾウ「じゃありレーとかはどう？」

みんな「いいね！みんなでやろう！」

DL「それではコース決(ぎ)めたね。じゃああそこの木まで行って往復(おうふく)して帰(かえ)ってこよう！」

みんな「分(わ)かった！」

ゴンゾウ「よーし！負(ま)けないぞ！」

ジロー「ぼくも負(ま)けないぞー！」

リス・しか・うさぎ「私達(わたしたち)だって！！」

DL「それでは…。位置(いち)について～よ～いドン！！」

DL「一着(いっちゃん)は…」

DL「ジロー！」

ジロー「やったー！」

リス「もっかいやろう！」

みんな「いいよ」

DL「位置(いち)について、よーいドン！」

～4回やって、みんな1回ずつ勝(か)ちました～

DL「楽しかった！」

しか「次(つぎ)、なににする？」

りす「じゃあドッチボールは、どうかな？」

みんな「いいね👍😊」

DL「じゃあチームを決(き)めようね！」

チームは、ジローチームとゴンゾウチームで分かれて決(き)まりました。

DL「用意(ようい)スタート!!!!」

そしてジローチームが勝(か)ちました!

りす「日が暮(く)れてきたね。」

ゴンゾウ「あ!! ご飯(はん)食べるの忘(わす)れてた!!」

みんな「え!？」

ジロー「そういえば、何もたべてないや…。もう…動(うご)けない…。」

みんな「くみちよ————!! よわすぎ…。」

しかのかー子「ご飯(はん)作るよ! さあ、動(うご)いて!!」
「まず、火(か)を起(お)こさないと。」

ゴンゾウ「あ!! (マッチ)マッチ持(も)ってくるの忘(わす)れた😓(汗(あせ))」

ジロー「ぼくライター持(も)ってきたよ!!」

みんな「くみちよ————!! さすが～～。」

かー子「で、今日(けふ)にご飯(はん)は何(なに)なの？」

ジロー「具(ぐ)沢山(たくさん)みそ汁(しる)う!!」

みんな「やった～～!!」

ゴンゾウ「でも、ご飯(はん)も食べたいよお」

みんな「やっぱ、おにぎらずだよね!!」

と言う事(こと)で、みんなで具(ぐ)沢山(たくさん)みそ汁(しる)を作る
ことになりました。

にんじん🥕、ジャガイモ🥔、キャベツ🥬、玉ねぎ🧅、ネギ、コンニャク、うすあげ、きのこ🍄

みんな基本(きほん)は草食(そうしょく)動物(どうぶつ)だからね。

もちろんご飯(はん)も炊(炊)いて。

さあ、出来(出来)上がり!

みんな「できた～～～😁」「いただきま～す。」

ゴンゾウ「あれ!?!みそ入れるの忘(わす)れてた!!」

ジロー「ええ!!」

ジローは気絶(きぜつ)した。

くりぼう、ぴよん「あ～あ。」

くりぼう、「まあみそ入れたら食べれるし、大丈夫(だいじょうぶ)だよ。」

みんな「そうだね!」

こうしてみんなおいしくいただきました。

アニマル 1 団(だん)はみんな仲良(なかよ)し。どんなトラブルがあってもみんなでわいわい楽しく乗(の)りこえていきます。

今日も楽しいデイキャンプになりました。



最終(さいしゅう)章「夏キャンプ」

ひつじのジロー、ヤギのメイコ、馬のパーカー、その他(た)諸々(もろもろ)のメンバーで夏キャンプに行きました。

キャンプに行くバスの中でひつじのジローは「どうかハチが出ませんように」と、言っていました。

出発(しゅっぱつ)してしばらくすると、隊長(たいちょう)が今回の夏キャンプの行き先を発表(はっぴょう)しました。

行き先は、山田養蜂場(やまだようほうじょう)です。

エッ！！

さらに隊長(たいちょう)は「山田養蜂場(ようほうじょう)は、高い所(ところ)にありとても景色(けしき)がいいところだ」といいました。

ひつじのジローは「うそー(涙)最悪(さいあく)だなあー」と思いました。

しばらくして山田養蜂場(ようほうじょう)につき、まずはお昼ご飯(はん)です。

山田養蜂場(ようほうじょう)の人がデザートにとなにかのカップをくれました。それはハチミツの入っているヨーグルトでした。

ジローはいそいでバックにもらったカップをかくし、家でお母さんにあげよう(ぼくはたべれないし、、、)と思いました。

お昼が食べれた子から自由(じゆう)タイムです。それぞれ好(す)きなことをしています。

りすのクリぼうはいつもやんちゃばかり。今もむしあみを持(も)って走り回っています！！

虫あみで動物(どうぶつ)を捕(つか)まえているとたいちょうに怒(おこ)

られました

それで虫あみをぼっしゅうされました。遠くをみると林があってそこで木の枝(えだ)と鉄(てっ)鉱石(こうせき)が落(お)ちているのを見つけ、虫網(あみ)をつくりました。

でも、鉄(てっ)鉱石(こうせき)の虫網(あみ)は重(おも)すぎて、うまく虫がとれませんでした。

そして、夜になりました。キャンプファイヤーのあとは、みんなが楽しみにしていたきもだめしです。はじめにジローとクリぼうのペアが出発(しゅっぱつ)しました。ジローはリュックを背負(せお)ったまま、クリぼうは鉄(てっ)鉱石(こうせき)の網(あみ)を持(も)ったままです。ジローはおばけよりもハチが怖(こわ)く、クリぼうはカブト虫(むし)がいないかと、二人でキョロキョロ暗(くら)い森(もり)をすすんでいきました。

「かさこそ…」何かの音がして二人は「キャーおばけ〜!!」と飛(と)び上(あ)がりました。クリぼうが鉄(てっ)鉱石(こうせき)の網(あみ)をふりまわすと、「ごっん…」と音がしておばけがのびていました。

「ヤッターおばけをやっつけたぞ」クリぼうは大喜(おおよろこ)びで、また網(あみ)をふりまわしていると、「ごっん」「ブーン」と音がしました。今度(こんど)はうっかり養蜂場(ようほうじょう)のハチの巣箱(すばこ)にぶつけてしまいました。

「キャー!!!」とひつじのジローが言(い)いました。リスのクリボウとひつじのジローは「たすけてー!」と悲鳴(ひめい)をあげました。ですがもう森の中(なか)は真(ま)っ暗(くら)。だれもひつじのジローとリスのクリボウがどこにいるのかわかりません。「はー、にげきった」とひつじのジローが言(い)いました。

リスのクリボウ「ああ、もうねよう」

ひつじのジロー「うん」

朝になりました。

隊長(たいちょう)が「おきてくださいっ」と声をあげました。

みんなは「はい」といい、起(お)きました。が、ひつじのジローとリスのクリボウは夜おそくに寝(ね)たので寝坊(ねぼう)してしまいました。

隊長(たいちょう)がなにかをつくっています。

たぬきのぼんた (なんのにおいだろう?)

隊長(たいちょう)がいました。今日の朝ごはんはカレーライスです。

みんなはやった! と思いました。

ごはんを食(た)べ終(お)わり、すこし遊(あそ)ぶと隊長(たいちょう)が「もう帰りますよ」と言いました。

ひつじのジローが言いました。「あー、やっと帰れる」

そうしてアニマル村につきました。

みんなそれぞれの家に帰りました。

その時ひつじのジローはお母さんに食べられなかったはちみつのヨーグルトをあげました。

お母さん「まーありがとう」

そしてお母さんがヨーグルトのふたをあけたしゅんかん。

(ぶーん)

なんとヨーグルトの中にハチが1匹入っていたのでお母さんはとびあがりました。

そうしてひつじのジローが「お母さんどうしたの?」と聞くと

(ぶーん)

ひつじのジロー「は、はちだーわ〜」

ひつじのジローとハチは、いつまでもおいかけあっていました。

エピソード

「バック、パクパク！」「ウォー！」

隊長(たいちょう)「神戸(こうべ)43 団(だん)のカブスカウトたちが、ぼくらの物語(ものがたり)を作ってくれました」

スカウト「おお、すごい」「わたしにも見せて」「ぼくが出てよ」

出来上がった物語(ものがたり)をスカウトたちは、とっても楽しそうに、一生懸命(いっしょうけんめい)読んでいます。

ひつじのジロー「ぼく、ハイキングに行きたいなあー」

1組のみんな「いいね👍やろうやろう！」

くまのゴンぞう「夜、帰れなくなるけど怖(こわ)くないかな？」

1組のみんな「だいじょうぶ！だいじょうぶ！」

やぎのメイ子「わー！わたし、クリスマス会やりたい！！」

2組のみんな「いいね👍やろうやろう！」

たぬきのボン太「けど、コアラのマーチくん来てくれるかなあ？」

2組のみんな「だいじょうぶ！だいじょうぶ！」

ぶたのブー子「ぼくはデイキャンプもやりたいなあ！ブーブー！！」

3組のみんな「いいね👍やろうやろう！」

うまのパーカー「けど、わすれものあったら怒(おこ)られないかな？」

3組のみんな「だいじょうぶ！だいじょうぶ！」

あらい隊長(たいちょう)「よし！じゃあ今年1年は43団(だん)みんなの
考えてくれたとおりの活動(かつどう)をしよう！」

スカウトたち「やったー👏大さんせい〜!!」

あらい隊長(たいちょう)「今のみんなでは、ちょっと大変(たいへん)な
ところもあるけど、どうする？」

スカウトたち「だいじょうぶ！だいじょうぶ！」

ひつじのジロー「ちょっと待(ま)って！」

スカウトたち「どうしたの??？」

ひつじのジロー「お話を読んでたら、高いところに行ったり、ハチが出
てきたり、夏キャンプはまさかの山田養蜂場(ようほうじょう)じゃない
か！とっても心配(しんぱい)なんだよなあー」

スカウトたち『だいじょうぶ！だいじょうぶ！』

あれだけ降(ふ)り続(つづ)いた雨もいつの間にか止み、お日(ひ)様(さま)
がニコニコしています。

いよいよアニマル村1団(だん)カブ隊(たい)の活動(かつどう)が始(はじ)
まります。

おしまい

あとがき

この物語は神戸の山奥にあるカブ山アニマル 1 団の組長「ひつじのジロー」を主人公としてたくさんの仲間たちと日頃の活動の中で起こるいろいろな出来事をスカウトたちの自由な発想や視点で描いたものです。

私は物語の中に出てくるキャラクターたちが活動の中で泣いたり、笑ったり、喧嘩したりしている場面が実際のスカウトたちの姿そのもののように感じています。

それは実際の活動の中でスカウトたちが見ていること、感じていること、思っていることなどが素直に表現されています。

それぞれの組のスカウトの顔を思い浮かべながら、その組が作ってくれた物語を読むとなんだかとても心がふわっと暖まります。

ぜひ皆さんも「あつまれカブスカウトの森」をいろいろな視点で楽しんでいただくと幸いです。

物語づくりは休校期間を利用してそれぞれの組のスカウトが自分たちでテーマを選んでデンリーダーを中心に「起承転結」を考えながら LINE を利用したリレー方式で制作しました。

スカウトたちがみんな幸せになりますように🍀

この「あつまれカブスカウトの森」制作にご協力くださいました副長、デンリーダーに心よりお礼申し上げます。

ボーイスカウト

神戸第 43 団

カブ隊 隊長 井上行政